

会議録

(4-1)

会議の名称		春日部市ごみ減量化・資源化等推進審議会	
開催日時		令和2年12月16日(水)	開 会 午後1時30分
			閉 会 午後2時40分
開催場所		市役所2階 全員協議会室	
議長(会長等)氏名		小野 雄策	
出席者	委員氏名	(出席人数: 11人) 伊澤 秀雄、岩城 葉子、小野 雄策、長森 正尚、天海 茂子、桑原 百恵 井上 功、田中 逸章、北条 一幸、佐藤 直子、高橋 亨	
	説明者 その他	環境政策課環境政策担当主幹 染谷 学	
	事務局	(出席人数: 7人) 環境経済部長 日向 誠、環境経済部参事兼リサイクル推進課長 橋本 博通、 環境経済部参事兼施設管理担当課長兼環境センター長 角田 学、 リサイクル推進課リサイクル推進担当主幹 小林 和彦、 リサイクル推進課施設管理担当主幹 佐藤 勉、 リサイクル推進課リサイクル推進担当主査 内藤 亜都子、 リサイクル推進課施設管理担当主任 前島 貴将	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		すべて公開	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		1 次第 2 春日部市ごみ減量化・資源化等推進審議会委員名簿、席次表 3 資料1 春日部市食品ロス削減行動指針 4 資料2 彩の国エコぐるめ協力店市町村別登録店数一覧 5 資料3 エコアクション21の認証を取得しました	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		小野 雄策 会長による署名	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>【開会】</p> <p>【部長挨拶】</p> <p>【委員紹介・事務局紹介】</p> <p>【会長の選出】 《委員の互選により、小野雄策委員が会長に選任》</p> <p>【副会長の選出】 《委員の互選により、長森正尚委員が副会長に選任》</p>
説明者	<p>【報告（１）】春日部市食品ロス削減行動指針について 《資料１、資料２に基づき説明》</p>
議長（会長）	<p>国連食糧農業機構（FAO）においては、「食品ロス」と「廃棄食品」に分類され、生産や物流段階のロスを「食品ロス」とし、小売りや家庭でのロスは「廃棄食品」としています。日本では「廃棄食品」の削減を「食品ロス削減」として扱い、国や県も食品ロス削減計画を策定しています。春日部市食品ロス削減行動指針は実務的な記載がたくさん見られます。これらについて、皆さんが生活している上で、ざっくばらんなご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>「食品ロス削減」というのは、生ごみを減らしていくという事でしょうか。</p>
事務局	<p>皮の剥き過ぎを減らすことや、食べ残しを減らすことなど、生ごみ部分も含まれますことから、「食品ロス削減」には「生ごみの減量」も含まれると考えています。</p>
委員	<p>調理の段階で廃棄するものが少なくなるように考えながら調理しています。また、必要な分だけを購入するように意識しています。日本は豊かな国なので、食品についての危機感がないために大切にできていないと思います。一人ひとりが大切に使うという事を考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>商工会ではお弁当を扱う店は、値引き販売などで廃棄物を減らす努力をしています。</p>
委員	<p>商工会議所に所属する店では、食品ロスを出さないよう仕入れなどをしています。宴会などでも、食品ロスが出ないよう声掛けしています。各店舗に生ごみを堆肥化するシステムがあれば、減量化できるのではと思いますが、いかがでしょうか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	数年前まで家庭向けのコンポストなどの生ごみ処理容器購入費補助事業がありましたが、堆肥の利用が、住宅事情などから難しいという問題があり終了した経緯があります。個人事業主から出る生ごみは、各事業所で堆肥化が可能と思いますが、継続させるには、どのように利用するか検討が必要だと思えます。
委員	傷んでいない食材や未利用食品を動物園などに納めるのはいかがでしょうか。
事務局	フードバンクなどの活動は、春日部市社会福祉協議会などで行われています。賞味期限切れの食品を飼料などにする活動は、企業等で行われていますが、量が確保されないと難しいと思えますので、調べてみます。
委員	くらしの会では、EM菌による生ごみのリサイクルを行っています。
委員	彩の国エコぐるめ協力店の店舗は自主的に参加した形でしょうか。
事務局	自主的に参加した店舗と、職員が訪問し確認の上登録をお願いした店舗があります。
議長（会長）	市が策定した行動指針は、このままで良いかと思えます。さらに食品ロス削減の推進を市民の方へ伝えていくには生活の中からの声を反映できるように、広報紙などへ掲載を工夫していくようにお願いします。
説明者	【報告（２）】エコアクション21認証取得について エコアクション21認証取得について説明
議長（会長）	国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）を実現していく手段に、ISO14001という、大企業などが取得している環境マネジメントシステムの国際規格があります。エコアクション21は、同じような環境マネジメントシステムとして、主に中小企業向けに環境省が作ったものです。
委員	私の会社もISO14001を取得しています。従業員の意識高揚の効果が高く、燃料の削減などの効果が出ています。
議長（会長）	今のご意見のように、削減量や増加量などを数値化していくため、企業にとっては、自社への貢献度が見えてくることになります。
委員	施設ごとに担当者を配置していますか。また、弊社もISO14001を取得しておりますが、データを取ることが目標になりがちで、対策がおろそかになってしまいます。その点はいかがでしょう。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
説明者	施設ごとに「環境リーダー」として配置しています。環境リーダーの進捗管理とともに、半年に一度、環境政策課で進行チェックを実施しています。さらに毎年度、外部の審査員より助言等をいただくことで効果的な推進が図れるものと考えています。
委員	ISO14001やエコアクション21という看板を掲げることで、その組織が無理、無駄、ムラを無くすという宣誓をすることになります。
委員	ISO14001やエコアクション21について、難しいのでこれから勉強したいと思います。
議長（会長）	<p>この審議会において、エコアクション21との関わりとは、廃棄物削減を数値化して見えるようにしていこうという取り組みになります。例えばコピー用紙など、具体的に削減目標が計画化されるというのがエコアクション21になります。</p> <p>SDGsとは、国連が各国に求めている17のゴールです。そのゴールへ、各国の状況に合わせて向かっていく手段が、エコアクション21やISO14001という環境マネジメントシステムです。そのゴールのうちの6つのゴールに向けてエコアクション21というシステムによって市役所が進んでいくということです。</p> <p>意見にあったように、数値を集めることが目的になって、何のためにやっているのかが分からなくなってしまうことがあります。</p> <p>本来の目標に向けて、しっかりとやって欲しいと思います。</p> <p>普段から目標に向けてどのように活動するか考えていくことが重要です。</p>
委員	<p>エコアクション21の認証をとることで終わりではありません。</p> <p>食品ロス削減行動指針の中で消費者としての役割について説明がありましたが、市民、つまり消費者の責任が高まっていくということです。市民に向けて、消費者の責任についてどのように伝えていくかが課題となると思います。</p>
議長（会長）	<p>今の意見のように、行政から市民へわかりやすく伝えてください。</p> <p>以上で、議事を終了させていただきます。</p>
事務局	【閉会】

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和3年1月19日

署名者の職・氏名

会長 小野 雄策